

Profile



〈指揮〉松村秀明 *Hideaki Matsumura*

慶應義塾大学法学部卒業。大学在学中より洗足学園音楽大学附属指揮研究所にて学ぶ。これまでに指揮を秋山和慶、河地良智、増井信貴、湯浅勇治の各氏、ピアノを馬場幸希江、クラリネットを四戸世紀の各氏に師事。2006～2008年の「アフィニス夏の音楽祭」に指揮研究員として参加、2010年度は紀尾井シンフォニエッタ東京で研鑽を積む。第11回アントニオ・ペドロツティ国際指揮者コンクールで第3位入賞。これまでに大阪交響楽団、神奈川フィル、関西フィル、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィル、千葉交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィル、名古屋フィル、広島交響楽団、山形交響楽団等を指揮。2012年にはイタリアのボルツァーノ＝トレント・ハイドン管弦楽団に招かれて3公演を指揮、好評を博す。洗足学園音楽大学非常勤講師。読売日本交響楽団とは今回が初共演。

〈管弦楽〉読売日本交響楽団 *Yomiuri Nippon Symphony Orchestra*



©読響

1962年、日本のオーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。創立以来、世界的な巨匠を指揮台に招くとともに、世界の名だたるソリストと共演を重ねている。現在、常任指揮者をカンブルランが務め、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、東京のサントリーホールでの定期演奏会を軸に充実した内容の演奏会を多数開催している。また、小中学校や病院での演奏などの社会貢献活動を通じ、クラシック音楽のすそ野拡大に地道な努力を続けている。演奏会の様子は日本テレビ「読響シンフォニックライブ」で放送され、「日テレオンデマンド」でも動画配信されている。詳しくは読響のホームページ<http://yomikyo.or.jp/>をご覧ください。

◆演奏会をお楽しみいただくために◆



写真撮影・録画・録音はお断り致します。



携帯電話の電源、時計のアラームはお切り下さい。補聴器はしっかり装着して下さい。キーホルダーの鈴やアメの包み紙のたてる音なども意外と気になるものです。ご注意願います。



演奏中にプログラムをご覧になる際は、ページをめくる音にご配慮下さい。チラシなどは膝上ではなく、足元に置いておくことをお勧めします。

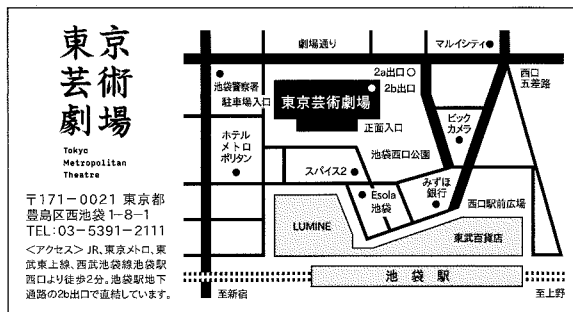


咳やくしゃみはハンカチでお口元を押さえて下さるよう、お願い致します。また、体を大きく動かすと他のお客様のご迷惑、鑑賞の妨げになりますので、ご遠慮下さい。



「ブラボー」や拍手は、タクトが降ろされてから。消えゆく余韻は生演奏の醍醐味です。その貴重な時間を、ぜひご堪能下さい。

●東京芸術劇場アクセス



多摩大学 目黒中学校 高等学校 芸術鑑賞会



オーケストラと 巡る世界旅行

Music travel

2017年10月10日(火) 14:00 開演

■指揮：松村秀明 ■管弦楽：読売日本交響楽団
東京芸術劇場コンサートホール

Program 〈曲目〉

- ◆ アンダーソン 舞踏会の美女
- ◆ ビゼー 歌劇「カルメン」第1組曲から アラゴネーズ、間奏曲、闘牛士
- ◆ メンデルスゾーン 「真夏の夜の夢」から 結婚行進曲
- ◆ マスカーニ 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲
- ◆ スッペ 喜歌劇「詩人と農夫」序曲

～休憩～

- ◆ エルガー 行進曲「威風堂々」第1番
- ◆ サン＝サーンス 歌劇「サムソンとデリラ」から バッカナール
- ◆ ドヴォルザーク 「スラヴ舞曲」から 作品46-1
- ◆ チャイコフスキー バレエ音楽「くるみ割り人形」から 行進曲、トレバック、アラビアの踊り、中国の踊り、葦笛の踊り、花のワルツ